

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会  
第5回 議事録(要旨)

開催日：平成27年9月11日(金)

## 参加者一覧

出席者	安藤 辰夫 大塚 之稔 西條 好迪	(一財) 自然学総合研究所技術顧問 日本野鳥の会岐阜代表 (一財) 自然学総合研究所所長
事務局	八代 貴守 伊藤 量崇 西岡 幸宏 名和 寿夫 山内 誠 他2名	恵那土木事務所道路建設課濃飛横断自動車道建設係長 恵那土木事務所道路建設課道路建設係技師 岐阜県都市政策課技術課長補佐 岐阜県都市政策課技術主査 岐阜県道路建設課主任技師 大日本コンサルタント株式会社

## 濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討部会 議事録(要旨)

議題	発言者	番号	意見の主旨	当日の回答
<b>1. 現地調査結果について</b>				
	事務局	-	<6月、7月の営巣・繁殖状況調査(定点観察調査、林内踏査)結果を提示。>	-
	検討会委員 一同	1	今シーズンの営巣・繁殖状況の調査結果について、了解する。	-
<b>2. 鳥類対策検討会(第1回~第3回)総括について</b>				
	検討会委員 一同	2	<鳥類対策検討会(第1回~第3回)の総括の内容について、再確認した。>	-
<b>3. 鳥類対策検討会 これまでの総括について</b>				
	事務局	-	<これまで実施してきた検討会の総括及び意見を踏まえ、今シーズンの総括として「これまでの検討会 総括(案)」を提示。>	-
	検討会委員 一同	3	当該オオタカは毎年同じ巣を利用して繁殖活動を行っていない可能性が高いと考えられる。 また、道路整備がオオタカの生息環境に与える影響を低減させるため、今後必要な詳細調査を行い、より具体的な検討及び対策を実施していくと良い。 以上2点を補足した上で、「これまでの検討会 総括(案)」について、了解する。	-
	検討会委員 一同	4	今後の調査内容やスケジュールについても、了解する。	-
	事務局	-	今後、検討会総括を都市計画審議会に報告する予定である。	-
	検討会委員 一同	5	都市計画審議会への報告について、了解する。	-
	事務局	-	これまでの検討会の総括及び議事要旨を県HPにて公開する予定である。	-
	検討会委員 一同	6	県HPでの公開について、了解する。	-
	検討会委員	7	検討会の総括や議事要旨だけでなく、それらの根拠となる「これまでの調査経緯」等についても公開資料として示した方が良い。	公開できる資料を整理する。
<b>4. その他</b>				
	検討会委員	8	オオタカの営巣環境を保全するためには、森林整備が必要である。道路事業者が森林整備を行うことは困難であると思うので、地元働きかけをしてはどうか。	森林整備について、中津川市と情報交換していく。

# 濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会

## 第5回検討会

### 『これまでの検討会 総括』

濃飛横断自動車道(中津川工区)整備に関する、オオタカ生息環境への影響、保全対策、事業の進め方等について、これまでの検討会での検討及び今シーズンの現地調査結果を踏まえ、以下のとおり総括する。

平成27年2～7月に実施した現地調査の結果、岩屋堂地区周辺においてオオタカの飛翔は確認されたが、今シーズンは当地区のルート計画に近接する古巣での繁殖は無かったこと、さらに当該オオタカの行動圏内での繁殖は無かったことがわかった。

また、本ルート計画に近接する森林には当該古巣の他にも、オオタカが営巣可能な環境が存在していることがわかった。

当該オオタカは、毎年同じ巣を利用して繁殖活動を行っていない可能性が高い。今シーズンは繁殖が無いが、今後も当該オオタカに関する調査を継続し、営巣・繁殖状況を把握したうえで保全対策を実施すること。

また、本ルート計画による道路整備がオオタカ生息環境に与える影響を低減させるため、オオタカが巣の位置を変更することを考慮し、工事に着手する3年前から行動圏解析等の必要な詳細調査を行い、具体的な検討及び対策を実施すること。

# 濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会(第5回)

## 『これまでの調査経緯』

濃飛横断自動車道(中津川工区)事業に関して、これまで実施してきたオオタカカの調査経緯を示す。  
なお、オオタカカに関する調査は、猛禽類保護の進め方(改訂版:平成24年12月)に準拠し、実施した。

### これまでの調査経緯

調査実施日	調査名目	調査結果	特筆事項
平成27年1月17日	予備調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>古巣の諸元や、古巣周辺の営巣環境、餌場環境についての確認。</li> </ul>	現地のオオタカカ生息情報に詳しい専門家同行による調査
平成27年2月16日～18日	営巣場所調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>定点観察調査を実施した結果、千旦林北地区～岩屋堂地区でH27繁殖シーズンに繁殖する可能性が高いと推定。</li> </ul>	
平成27年3月1日～6日		<ul style="list-style-type: none"> <li>定点観察調査を実施した結果、千旦林南地区でH27繁殖シーズンに繁殖する可能性が高いと推定。</li> </ul>	
平成27年3月17日～18日		<ul style="list-style-type: none"> <li>定点観察調査を実施した結果、千旦林北地区～岩屋堂地区でH27繁殖シーズンに繁殖する可能性が高いと推定。</li> </ul>	
平成27年5月14日	第4回鳥類対策検討会 現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地調査を実施し、古巣の諸元や古巣周辺の植生の状況を確認した。</li> </ul>	鳥類対策検討会委員3名同行
平成27年6月25日～26日	繁殖状況調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>定点観察調査、林内踏査の実施により、千旦林南地区でのH27繁殖シーズンの繁殖成功を確認。</li> <li>なお、千旦林北地区～岩屋堂地区では、H27繁殖シーズンは繁殖していない可能性が高いと推定。</li> </ul>	
平成27年7月29日～30日		<ul style="list-style-type: none"> <li>定点観察調査、林内踏査を実施し、千旦林北地区～岩屋堂地区ではH27繁殖シーズンは繁殖していないことを確認。</li> </ul>	
平成27年7月31日	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員同行による現地調査を実施し、千旦林北地区～岩屋堂地区ではH27繁殖シーズンは繁殖していないことを再確認。</li> </ul>	鳥類対策検討会委員1名同行